

# 業歴 100 年以上の老舗企業 中国地方に 3284 社

「清酒製造業」「貸事務所業」が上位に

## 中国地方・「老舗企業」分析調査(2025 年)



本件照会先

牧 秀樹、松岡 静生、玄道 一成  
帝国データバンク  
広島支店 情報部  
TEL:082-247-5930(直通)  
info.hiroshima@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/05/01

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2025 年 12 月時点で、業歴 100 年以上の「老舗企業」は中国地方に 3284 社。企業全体に占める老舗企業の割合「老舗出現率」は 3.19%となった。業種別では、『製造業』『小売業』がともに構成比 25%を超えて高かった。業種細分類別でみると、『清酒製造業』『貸事務所業』が多かった。売上規模別では、『1 億円未満』の小規模が 5 割近くを占めた。県別でみると、老舗出現率は『島根県』が全国で 4 番目に高かった。時代ごとのニーズを的確に捉え、製品開発や新技術の導入、販売経路の開拓など新たなことに取り組み続ける老舗企業から学べることは多い。

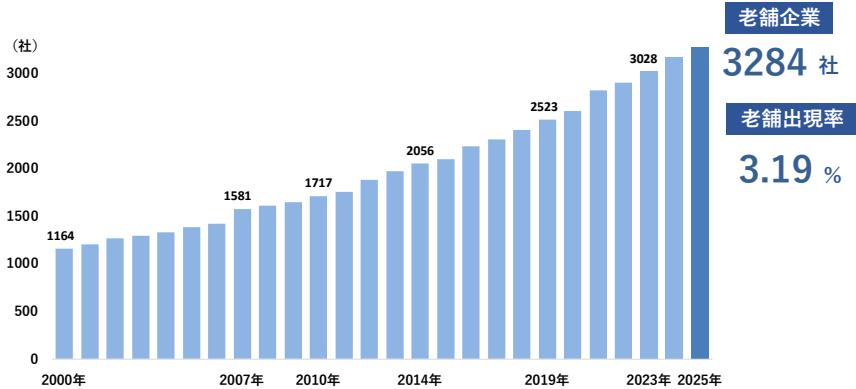
※帝国データバンクでは、2025 年 12 月時点の企業概要ファイル「COSMOS2」(約 150 万社収録)に加え、独自で収集して営業の実態が確認できた企業をもとに、創業・設立から 100 年以上の企業を「老舗企業」と定義し、広島支店で中国地方について集計・分析した。

なお、創業時が元号・時代のみ判明している場合は、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

## 1. 老舗企業は 3284 社、老舗出現率は 3.19%

中国地方に本社を置く企業のうち、業歴 100 年以上の「老舗企業」は 3284 社あることが判明した。2000 年に 1164 社だった老舗企業は、2014 年に 2000 社を超え、2023 年には 3000 社を上回り、増加傾向が続いている。なお、企業全体に占める老舗企業の割合「老舗出現率」は 3.19%となった。

老舗企業数と老舗出現率



## 2. 業種細分類別：『清酒製造業』『貸事務所業』が上位に

中国地方に本社を置く老舗企業のうち業種が判明した 3058 社について、業種別(大分類)にみると、『製造業』が 809 社(構成比 26.5%)で最も多かった。次いで、『小売業』が 780 社(25.5%)、『卸売業』が 580 社(19.0%)で続いた。この 3 業種で全体の 70.9%を占めた。

さらに、業種細分類別にみると、最も多かったのは『清酒製造業』(115 社)だった。日本三大酒処の広島県東広島市の西条をはじめ、中国地方の各地域でも古くから定着している産業の一つ。2 位は『貸事務所業』(92 社)。以前は別事業を手がけていたが、所有する不動産を活用し、賃料収入を中心とした貸事務所業へと業態変更したケースも多い。3 位は『旅館』(75 社)で、このほか、『婦人・子供服小売業』『酒小売業』といった一般個人を対象としたBtoC関連の業種が上位にランクした。

業種別

業種(大分類)	老舗企業数	構成比(%)
建設業	303	9.9
製造業	809	26.5
卸売業	580	19.0
小売業	780	25.5
運輸・通信業	64	2.1
サービス業	303	9.9
不動産業	155	5.1
その他	64	2.1
合計	3,058	100.0

業種細分類別 上位

順位	業種(細分類)	老舗企業数
1	清酒製造業	115
2	貸事務所業	92
3	旅館	75
4	婦人・子供服小売業	68
5	酒小売業	59
6	呉服・服地小売業	57
	土木工事業(造園工事業を除く)	57
8	印刷業(謄写印刷業を除く)	53
9	酒類卸売業	52
10	しょう油・食用アミノ酸製造業	51

### 3. 売上規模別：『1 億円未満』が最多 県別：老舗出現率は『島根県』が全国で 4 番目に高く

業種が判明した 3058 社について、売上規模別で見ると、『1 億円未満』が 1436 社(構成比 47.0%)で最も多かった。次いで、『1 億円～10 億円未満』が 1114 社(36.4%)、『10 億円～50 億円未満』が 336 社(11.0%)、『100 億円～500 億円未満』が 80 社(2.6%)、『50 億円～100 億円未満』が 73 社(2.4%)、『500 億円～1000 億円未満』が 14 社(0.5%)、『1000 億円以上』が 5 社(0.2%)で続いた。

県別では、『広島県』が 1103 社(構成比 33.6%)で最も多かった。次いで、『岡山県』が 879 社(26.8%)、『山口県』が 575 社(17.5%)、『島根県』が 444 社(13.5%)、『鳥取県』が 283 社(8.6%)で続いた。

なお、老舗企業の割合「老舗出現率」をみると、『島根県』が全国 4 位(4.59%)、『鳥取県』が 15 位(3.57%)、『岡山県』が 22 位(3.27%)、『山口県』が 23 位(3.20%)、『広島県』が 32 位(2.71%)となった。

#### 売上規模別

#### 県別

売上規模別	老舗企業数	構成比(%)
1億円未満	1,436	47.0
1億円～10億円未満	1,114	36.4
10億円～50億円未満	336	11.0
50億円～100億円未満	73	2.4
100億円～500億円未満	80	2.6
500億円～1000億円未満	14	0.5
1000億円以上	5	0.2
合計	3,058	100.0

中国5県	老舗企業数	構成比(%)	老舗出現率(%)	全国順位
鳥取県	283	8.6	3.57	15
島根県	444	13.5	4.59	4
岡山県	879	26.8	3.27	22
広島県	1,103	33.6	2.71	32
山口県	575	17.5	3.20	23
合計	3,284	100.0	3.19	—

## まとめ

業歴 100 年を超える老舗企業は中国地方に 3284 社あり、老舗出現率は 3.19%となった。一方で、2025 年における中国地方の倒産(法的整理・負債 1000 万円以上)件数は全体で 447 件発生した。このうち老舗企業は 8 社にとどまったものの、「エリア内の少子高齢化・過疎化」「原材料価格の高騰による採算性の悪化」「出店費用や店舗の維持費が重荷」「価格転嫁の遅れ」「過去の不良資産」「需要低迷や消費不振」などが倒産要因として挙げられた。また、老舗企業を含む業歴「30 年以上」の倒産件数は 179 件にのぼり、直近 10 年で最も多くなり、構成比は 4 割にのぼった。

長く事業を続けるには、時代のニーズを的確に捉え、製品開発や新技術の導入、販売経路の開拓など新たなことに取り組み続けなければならない。災害や戦争など危機的状況を乗り越えてきた老舗企業から学べることは多い。